

第2期常陸大宮市創生総合戦略
令和5年度評価書

令和6年9月

常陸大宮市 企画部 企画政策課

目 次

本市の人口動向の状況について	1
第2期常陸大宮市創生総合戦略の評価について	2
基本方針1. しごとの創出・応援	3
基本方針2. 人の流れづくり	4
基本方針3. 結婚・主産・子育て応援	5
基本方針4. 魅力あるまちづくり	6
令和5年度 地方創生交付金事業等に係る評価書	7
令和5年度 地方創生応援税制活用事業評価書	10

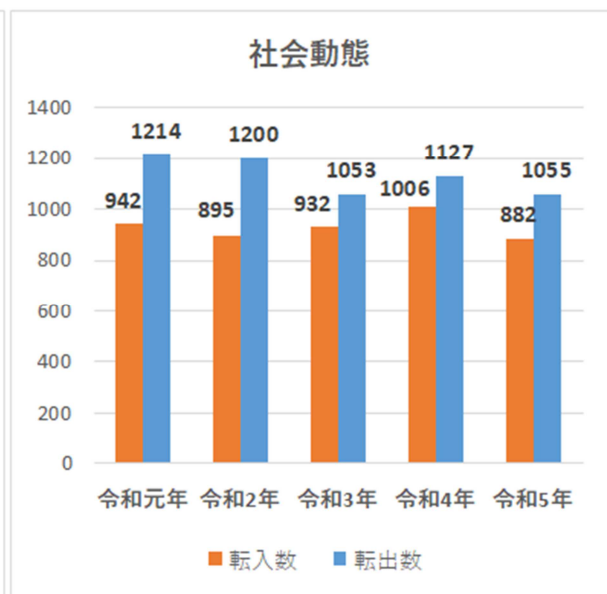
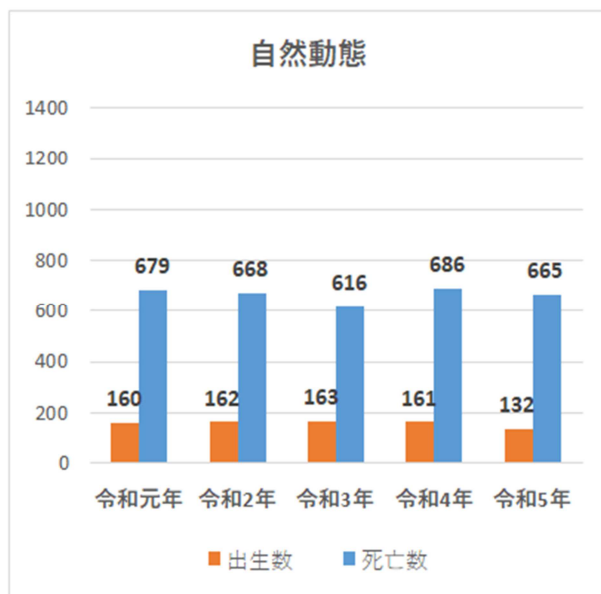
本市の人口動向の状況について

1 総人口の推移 各年 10 月 1 日現在（単位：人）

令和元年	令和 2 年（国勢調査）	令和 3 年
39,904	39,267	38,640
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年（7 月）
38,056	37,554	36,762

2 人口動態の推移 各年 1 月～12 月（単位：人）

	自然動態			社会動態			人口 増減
	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	
令和元年	160	679	▲519	942	1,214	▲272	▲791
令和 2 年	162	668	▲506	895	1,200	▲305	▲811
令和 3 年	163	616	▲453	932	1,053	▲121	▲574
令和 4 年	161	686	▲525	1,006	1,127	▲121	▲646
令和 5 年	132	665	▲533	882	1055	▲173	▲706



第2期常陸大宮市創生総合戦略及び地方創生関連事業の評価手法について

1 創生総合戦略の事業評価について

第2期創生総合戦略に位置づく事業は、原則、総合計画重点事業計画に位置づけていることから、総合計画重点事業計画の評価及び事業の方針をもって事業評価とする。（評価区分及び事業の方針は、下記の表1・表2のとおり）

また、国の地方創生関係交付金等の支援を受けた事業（地方創生推進交付金事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業等）については、別途評価を行うものとする。

■表1（創生総合戦略における事業の評価区分）

進捗状況	評価区分
達成度：100%以上	A：期待どおりの成果
達成度：80～99%	B：概ね期待どおりの成果
達成度：50～79%	C：期待した成果を下回っている
達成度：50%未満	D：期待された成果があがっていない

■表2（今後の方針区分）

方針	
A：拡充	B：現行どおり
C：見直し	D：縮小
E：休止・廃止	F：完了
G：統合	

2 創生総合戦略の評価について

第2期創生総合戦略の評価は、基本方針ごとに設定した基本目標の達成状況及びKPIの達成状況、並びに第2期創生総合戦略位置付け事業の評価結果等を勘案して評価するとともに、今後の事業方針を決定するものとする。

第2期常陸大宮市創生総合戦略の令和5年度評価について

基本方針1. しごとの創出・応援

1 取組の概要と評価

基本方針1では、創業支援の取組である「起業サポート事業」を実施し、市の雇用拡大や新規ビジネスの創出に取り組んだ。

KPIでは「新規創業・起業数」において目標値を達成しており、より多くの創業希望者の支援を行うことができた。一方で「市内法人設立届出数」が基準値を下回っているため、何が課題であるかなど、分析・検証する必要がある。

2 今後の取組方針

今後は、さらなる地元企業や商店等の活性化を図るとともに、創業希望者がチャレンジしやすい環境づくりを進めることが重要である。

また、企業誘致について、大規模企業の誘致は困難であるが、遊休資産等を活用した小規模事業者（ベンチャー企業等）を呼び込む体制づくりに取り組むなど、雇用機会の拡大を図る必要がある。

○基本目標

基本目標	基準値	実績		目標値
	H28	R4	R5	R6
市内従業者数 ※経済センサス（5年周期）	15,763人	15,113人	15,113人	16,600人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
新規創業・起業数（年間） ※創業支援事業費補助金交付件数	2件	6件	9件	9件
KPI	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
市内法人設立届出数（年間） ※法人の設立に関する届出件数	22件	11件	12件	30件

基本方針 2. 人の流れづくり

1 取組の概要と評価

基本方針 2 では、「観光振興事業」や「地域間交流事業」など関係人口の創出にかかる取り組みを実施したほか、「移住定住促進事業」などに取り組んだものの、基本目標である「社会増減数」の実績値は前年度の実績値を下回った。

2 つの KPI についても基準値を下回っている状況であり、目標達成に向けた事業内容の見直しが必要である。

2 今後の取組方針

基準値を下回っているものの、KPI「観光入込客数」は年々増加しているため、観光客のニーズを把握しながら、現在整備している各観光施設を含む、市内を周遊するツアーの造成に取り組む必要がある。

なお、「友好都市交流事業」や「御前山・那珂川観光強化事業」など、イベント参加者等の一定の目標を達成している事業があるものの、基本目標の達成により直接的に作用するような事業内容となっているか改めて検証し、必要に応じ見直しを行ったうえで各事業を推進していく必要がある。

○基本目標

基本目標	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
社会増減数(年間 1 月～12 月) ※茨城県常住人口調査	▲243 人	▲121 人	▲173 人	▲50 人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
観光入込客数（年間） ※茨城県観光客動態調査報告	約 144 万人	約 125 万人	約 130 万人	約 170 万人
KPI	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
定住促進のための住宅取得奨励金制度活用件数（年間）	92 件	105 件	86 件	120 件

基本方針 3. 結婚・出産・子育て応援

1 取組の概要と評価

「こどもセンター運営事業」や「放課後児童健全育成事業」など、多様な子育て支援策を展開したが、基本目標である「出生数」の実績値は、前年度の実績値を下回る結果となった。

一方で、KPI「授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合」では目標を達成しており、「確かな学力育成プロジェクト事業」をはじめとする、教育施策の成果が表れてきた結果となっている。

2 今後の取組方針

子育て世代の経済的負担の軽減など、引き続き子育て支援策に取り組むとともに、今後は出会いの創出など、結婚の希望をかなえられるような環境づくりに取り組んでいくことが重要である。

学校教育においては、導入したタブレット等のデジタルツールを教職員が最大限活用できる体制構築に努めるとともに、授業力の向上についても積極的に取り組む必要がある。

○基本目標

基本目標	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
出生数（年間 1 月～12 月） ※茨城県人口動態統計	226 人	161 人	132 人	240 人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績		目標値
	H27	R4	R5	R6
有配偶率（20～39 歳女性） ※国勢調査	45.20%	41.55%	41.55%	48.00%
KPI	基準値	実績		目標値
	H30	R4	R5	R6
子育て環境に対する満足度 （未就学児保護者） ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	27.90%	31.70%	31.70%	33.00%
KPI	基準値	実績		目標値
	R1	R4	R5	R6
授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合（小学生、中学生） ※文部科学省全国学力・学習状況調査	78.10%	79.20%	85.00%	80%以上

基本方針 4. 魅力あるまちづくり

1 取組の概要と評価

「地域公共交通維持活性化事業」や「自主防災組織育成事業」など、安全・安心で暮らしやすいまちづくりの推進に取り組んだ。

一方で、「市民協働のまちづくり推進事業」等の取組の評価が低く、市民のまちづくりへの参画や人材育成については課題のある結果となった。

2 今後の取組方針

まちの機能の充実と安心な暮らしのため、引き続き各種事業に取り組むとともに、整備が完了した大宮運動公園市民球場をはじめ、各施設の活用に積極的に取り組むことで、魅力的なまちづくりを推進していく。

○基本目標

基本目標	基準値	実績		目標値
	R1	R4	R5	R6
住み続けたい市民の割合 ※創生総合戦略策定等にかかる市民アンケート調査	44.50%	69.60%	69.60%	50.00%

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績		目標値
	R1	R4	R5	R6
市内での暮らしの満足度 ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	63.10%	72.10%	72.10%	71.00%
KPI	基準値	実績		目標値
	R1	R4	R5	R6
地域の行事・活動への参加割合 ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	66.50%	44.90%	44.90%	72.00%
KPI	基準値	実績		目標値
	R1	R4	R5	R6
若者のシビックプライド（市への愛着や誇り） ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査結果	77.90%	66.90%	66.90%	90.00%

担当部課等	地域創生部 地域創生課
-------	-------------

1 事業概要

事業名	御前山ダム周辺活性化事業		交付金の種類	
			地方創生推進タイプ	
当該年度概算事業費 ／当該年度概算事業費 決算額	概算事業62,144千円／決算額57,230千円 （推進交付金対象事業費53,152千円、交付金（対象事業費の1/2）26,576千円）			
市総合戦略における位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり		
	施策	3. 関係人口の創出と観光・交流の促進		
	基本目標KPI	社会増減数		
		基準値	目標値	
		▲243人（平成30年：2018年）		▲50人（令和6年：2024年）
	施策目標KPI	観光入込客数		
		基準値（2018年）		目標値（2024年）
		約144万人		約170万人
事業目的	近年の新型コロナウイルス感染症の影響によりアウトドアの注目度が高まっている中、茨城県では「体験王国いばらき」のテーマを掲げ、全県的なアクティビティの機運の高まりをみせており、本市では、令和4年度には御前山ダムの湖面利用が可能となったことから、この時期を好機と捉え、御前山ダムを観光誘客等の起爆剤として活用を図る。また、農業用ダムである御前山ダムと、有機農業を推進している本市の親和性の高さを強みとして、農業体験を通じた学習や、就農による移住を促進し地域の活性化に取り組む。			
事業期間	令和5年度～		完成時期（拠点）	-
事業内容 （令和5年度）	○湖面利用 ・御前山ダムカヌー等体験イベントの運営 ・参加申込や地域の情報発信を一体的にできるポータルサイトの構築 ・御前山ダムと農業体験や川遊びなど周辺の地域資源を組み合わせたモニターイベントの実施 ・アクティビティと英語学習を組み合わせた体験プログラムの展開 ○ハイキングコース ・コースマップの作製 ・見晴らしエリアへのベンチ等の設置 ○PR・プロモーション ・地域資源の発掘や磨き上げを行うプロモーションの実施 ・常陸大宮大使を活用したポスター等の作製 ・アウトドア専用HPへの掲載			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

（1）KPIの達成状況

KPI項目		R5	R6
ツアーの造成数	目標値	1件	2件
	実績値	3件	-

（2）事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
総合計画評価	御前山ダムの湖面を活用したカヌー等体験について、常陸大宮大使を活用したポスターの作成やSNSでの積極的なプロモーションにより、認知度及び参加者数の増加が図られた。
A期待したとおりの成果	また、カヌー等体験の参加受付を行うポータルサイトにおいて、周辺の飲食店や四季彩館、御前山青少年旅行村等の情報を掲載することで地域の周遊を促し、KPI（御前山地域への観光入込客数の増加）を達成することができた。
地方創生評価	さらに、観光誘客以外の取り組みとして、農業用ダムとしての特色を活かした農業収穫体験や、茨城キリスト教大学との連携による英語学習アクティビティなどを展開することで、農業振興や教育の側面においても活用が図られ、地域振興に資することができた。
A地方創生に非常に効果的であった	

3 今後の取組

方針	主な取組
拡充	御前山ダムでのアクティビティ体験受入環境を向上させるため、カヌー発着所の整備に着手していくほか、ダム周辺エリアの一体的なアウトドアグランドデザインの策定にも取り組んでいく計画である。将来的には、アクティビティ体験料の見直しや民間事業者の運営への関与拡大についても検討する余地があるが、国管理による試験運用期間は市が主体となり観光誘客等に向けた受入環境整備を進めていく。

担当部課等	地域創生部 地域創生課
-------	-------------

1 事業概要

事業名	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業 （市事業名：自転車活用推進事業）		交付金の種類
			地方創生推進タイプ
当該年度概算事業費 ／当該年度概算事業費 決算額	概算事業費3,507千円／決算額2,471千円 （推進交付金対象経費1,392千円 交付額（対象事業費の1/2）696千円）		
市総合戦略における位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり	
	施策	4. 関係人口の創出と観光・交流の促進	
	基本目標KPI	社会増減数	
		基準値	目標値
		▲243人（平成30年：2018年）	▲50人（令和6年：2024年）
	施策目標KPI	観光入込客数	
		基準値	目標値
		約144万人（平成30年：2018年）	約170万人（令和6年：2024年）
事業目的	近年、自転車を活用して地域を巡り、地域の魅力を体験するサイクルツーリズムの取組みが活発化している。本市においても、自転車活用の有効性などを広く市民に浸透させつつ、安全に快適な自転車利用の環境整備を進め、サイクルツーリズムの推進による交流人口の増加や地域の活性化を図る。		
事業期間	令和3年度～		完成時期（拠点） -
事業内容 （令和5年度）	・ 県、奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会と連携し、サイクルツーリズムの取組を実施する。 ・ 市内を周遊するサイクリングイベントを開催する。 ・ 子ども向けのキックバイク教室を開催する。 ・ 市のサイクルツーリズムをPRするポスター等を作製する。		

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

（1）KPIの達成状況

KPI項目		R3	R4	R5	R6
①サイクルサポートステーションの設置（令和3年度）	目標値	①20件	②30回	②50回	②70回
②市サイクリングコース走行回数（令和4年度～）	実績値	①28件	②84回	②172回	—

（2）事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
総合計画評価	サイクリングコースを活用した周遊イベントや、マップ・チラシ等の配布によるPRに努め、市サイクリングコースの走行回数が目標値を大きく上回ったため。
A期待したとおりの成果	
地方創生評価	
A地方創生に非常に効果的であった	

3 今後の取組

方針	主な取組
拡充	今後は未就学児（まだ自転車に乗れない年齢層）に対するアプローチとして、保育施設へのキックバイクの貸出を行い、日常的に自転車に親しむ機会も作っていく。

担当部課等	地域創生部 定住推進課
-------	-------------

1 事業概要

事業名	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト （市事業名：移住・定住促進事業）		交付金の種類	
			地方創生推進タイプ	
当該年度概算事業費 ／当該年度概算事業費 決算額	概算事業費105,230千円/決算額78,623千円 （推進交付金対象事業費7,810千円 交付金（対象事業費の1/2）3,905千円）			
市総合戦略における位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり		
	施策	4. 移住・定住の促進		
	基本目標KPI	社会増減数		
		基準値	目標値	
		▲243人（平成30年：2018年）	▲50人（令和6年：2024年）	
	施策目標KPI	定住促進のための住宅取得奨励金交付制度の活用件数（年間）		
		基準値	目標値	
		92件（平成30年：2018年）	120件（令和6年：2024年）	
事業目的	県が中心となり首都圏において効果的な情報発信や移住相談等の取組みを進めることで、市町村における関係人口の創出や移住促進施策に取り組みやすい環境づくりが図られることから、県や関係機関と積極的に連携する。また、移住を中長期的な視点で捉え、まずは本市への興味関心を高め、「交流人口」の拡大を図る。さらに、段階的に地域との交流や関係性を深めていき、地域との多様な関わりを持つ「関係人口」の創出を図ることで、将来の移住につなげる。			
事業期間	令和4年度～		完成時期（拠点）	-
事業内容 （令和5年度）	県や関係機関と連携し、移住促進に向けた積極的な情報発信と相談体制の強化を図りながら、移住体験ツアーやセミナー等を通して、本市への来訪機会（市の魅力を体験する機会）を提供し、移住希望者の興味関心を高めることで、将来の移住につながる取組を効果的に行う。合わせて定住促進に向けた住宅取得奨励金の交付や関係部局と連携して各種支援策の充実を図る。 【地方創生推進交付金対象事業】 ・移住体験事業の実施（移住体験ツアー・移住セミナー） 【主な市独自事業】 ・定住促進に向けた住宅取得奨励金の交付 ・首都圏で開催される大規模移住イベントへの出展 ・首都圏の交流自治体を対象とした日帰り体験ツアーの開催			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

（1）KPIの達成状況

KPI項目		R4	R5	R6
定住促進のための住宅取得奨励金申請者の件数	目標値	92件	92件	92件
	実績値	105件	86件	—

（2）事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
総合計画評価	移住体験ツアーでは、首都圏の子育て世帯を対象にカヌーや釣り、地元野菜を使ったピザづくりなど自然豊かな本市の魅力を家族で体験するプログラムや農業を集中的に体験するプログラムを先輩移住者や地域の方々との交流を行いながら実施した。昨年度参加者がリピーターとして参加したり、ツアー終了後も参加者と地域の方々が直接つながるなど、関係人口の創出・拡大を図ることができた。
B概ね期待とおりの成果	
地方創生評価	
B地方創生に相当程度効果があった	

3 今後の取組

方針	主な取組
拡充	各種支援制度の継続とともに、令和6年度においては新婚家庭家賃助成事業の所得制限の撤廃や支給額の増加を図り、子育て世帯の本市への定住促進を高める。また、全国移住フェアなどに庁内連携により出展し、移住相談や情報発信の強化を図っていく。

担当部課等	地域創生部 地域創生課
-------	-------------

1 事業概要

事業名	御前山ダム周辺活性化事業		交付金等の種類	
			企業版ふるさと納税	
事業費及び寄付額	【令和5年度】 予算額：62,144,000円 事業費：57,230,000円 【寄付企業・寄付額】 株式会社ダイブ（寄附金額非公開）			
市総合戦略における位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり		
	施策	3. 関係人口の創出と観光・交流の促進		
	関連KPI等	基準値（2018年）	目標値（2024年）	
	観光入込客数	約144万人	約170万人	
事業目的	御前山ダム湖面や周辺の地域資源を有効に活用し、ダム周辺等への誘客や交流を促進して地域活性化を図る。			
事業期間	令和5年度～		完成時期（拠点）	-
事業内容 （令和5年度）	○湖面利用 ・御前山ダムカヌー等体験イベントの運営 ・参加申込や地域の情報発信を一体的にできるポータルサイトの構築 ・御前山ダムと農業体験や川遊びなど周辺の地域資源を組み合わせたモニターイベントの実施 ・アクティビティと英語学習を組み合わせた体験プログラムの展開 ○ハイキングコース ・コースマップの作製 ・見晴らしエリアへのベンチ等の設置 ○PR・プロモーション ・地域資源の発掘や磨き上げを行うプロモーションの実施 ・常陸大宮大使を活用したポスター等の作製 ・アウトドア専用HPへの掲載			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

（1）KPIの達成状況

KPI項目		R5	R6
ツアーの造成数	目標値	1件	2件
	実績値	3件	-

（2）事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
A 期待したとおりの成果	御前山ダムの湖面を活用したカヌー等体験について、常陸大宮大使を活用したポスターの作成やSNSでの積極的なプロモーションにより、認知度及び参加者数の増加が図られた。 また、カヌー等体験の参加受付を行うポータルサイトにおいて、周辺の飲食店や四季彩館、御前山青少年旅行村等の情報を掲載することで地域の周遊を促し、KPI（御前山地域への観光入込客数の増加）を達成することができた。
A 地方創生に非常に効果的であった	さらに、観光誘客以外の取り組みとして、農業用ダムとしての特色を活かした農業収穫体験や、茨城キリスト教大学との連携による英語学習アクティビティなどを展開することで、農業振興や教育の側面においても活用が図られ、地域振興に資することができた。
方針	拡充

担当部課等	教育委員会 文化スポーツ課
-------	---------------

1 事業概要

事業名	大宮運動公園市民球場整備事業		交付金等の種類	
			企業版ふるさと納税	
事業費及び寄付額	【令和5年度】 予算額：322,300,000円（工事請負） 事業費：322,290,000円（工事請負） 【寄付企業・寄付額】 ・オフィスC.A株式会社（寄附金額非公開） ・株式会社オーチュー 500,000円 ・株式会社セコマ（寄付金額非公開）			
市総合戦略における位置付け	基本方針	4. 魅力あるまちづくり		
	施策	10. まちの活力と多様な魅力の創出		
	関連KPI等	基準値（2018年）	目標値（2024年）	
	若者のシビックプライド	77.90%	90.00%	
事業目的	経年による施設の老朽化に伴い、大規模な改修（暗渠排水・スコアボード）を行うことで、県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的利用を可能とし、利用率の向上を目的とする。			
事業期間	令和4年度～		完成時期（拠点）	令和6年3月
事業内容 （令和5年度）	市民球場改修工事を実施する。 ・バックスクリーン改修（フルスクリーンLEDビジョンスコアボード） ・緩衝材の改修 ※令和4年度は人工芝化が完了			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

（1）KPIの達成状況

KPI項目		R4	R5
整備進捗率	目標値	50%	100%
	実績値	50%	100%

（2）事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
B概ね期待どおりの成果	県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的で利用できることを市内外にPRを行い、利用の向上を図る。
B地方創生に相当程度効果があつた	
方針	完了